

3. 波志江地域の群集墳について

石 塚 久 則

1969年度に伊勢崎市教育委員会により発掘調査された4基の宮貝戸古墳群のうちの2号墳について若干の考察を加え、波志江沼西古墳群(波志江今宮遺跡・宮貝戸古墳群の総称)の成立前史を見通したい。

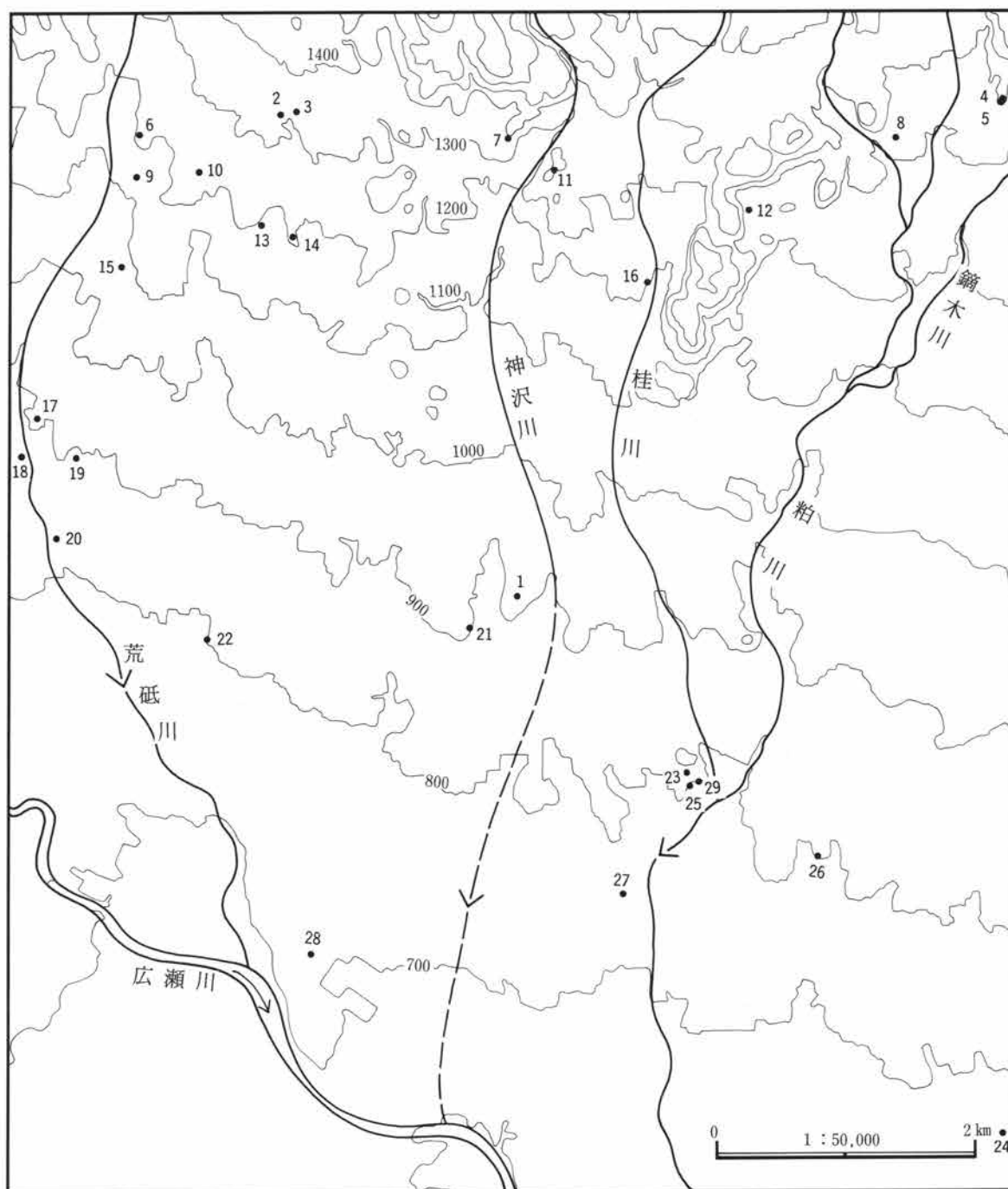
紹介する2号墳は、古墳の周堀の一部分を確認したのみで墳形は円墳、規模は18mと考えられる。この古墳の周堀からはパン箱で10箱ほどの埴輪片が出土している。出土した埴輪が本地域では最古級と考えられ注目されたが、報告書には遺物図の記載がなかったために今回、伊勢崎市教育委員会の御高配を得て波志江今宮遺跡の報告書に周辺の遺跡として報告し、波志江地域の群集墳の重要性を強調したい。

本古墳出土の円筒埴輪には普通円筒埴輪と朝顔形埴輪がある。普通円筒埴輪の器高は35cm～62cmに復元され大・中・小に分類できる。朝顔形埴輪は85cmに復元される。凸帯は突出度は低いものの台形でしっかりしている。透孔は円形と半円形が確認され各個体にばらつきはあるが、1段に对で穿孔することで共通している。外面調整は1次タテハケだけのものと2次調整にB種(止続)ヨコハケの2種類に分類できる。そのほか大形・中形の埴輪には外面に黒斑の残るもの、赤色の彩色が施されるもの、また口縁部に1つの小さな穿孔が見られるものや、篋状具で山形の円弧に平行線で充填する記号も見られる。

以上の特徴を持つ埴輪を出土する古墳を検討してみよう。2次調整にB種ヨコハケ・黒斑・赤色塗彩・半円形透孔を持つ埴輪を5世紀と考え、形態的に古相なもの、ヨコハケの精粗から前半と後半に分類してみた。前半期は御富士山古墳・赤堀茶臼山古墳、後半期は丸塚山古墳・今井神社古墳が挙げられる。宮貝戸2号墳は、5世紀の後半期に比定される。

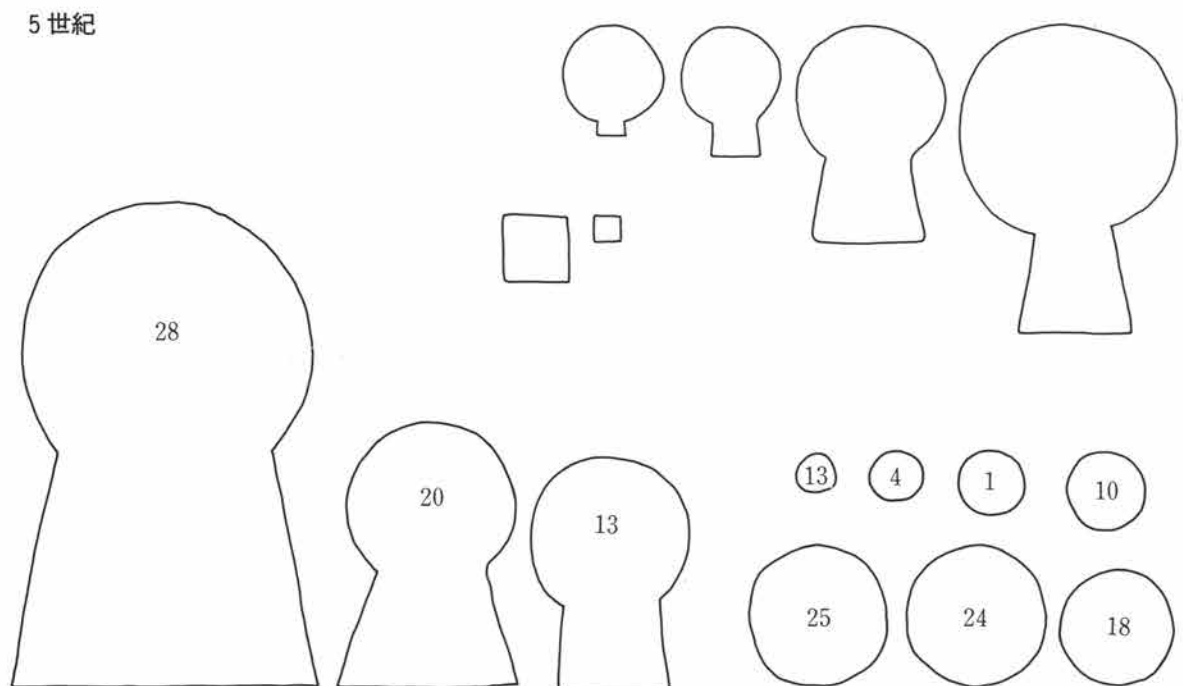
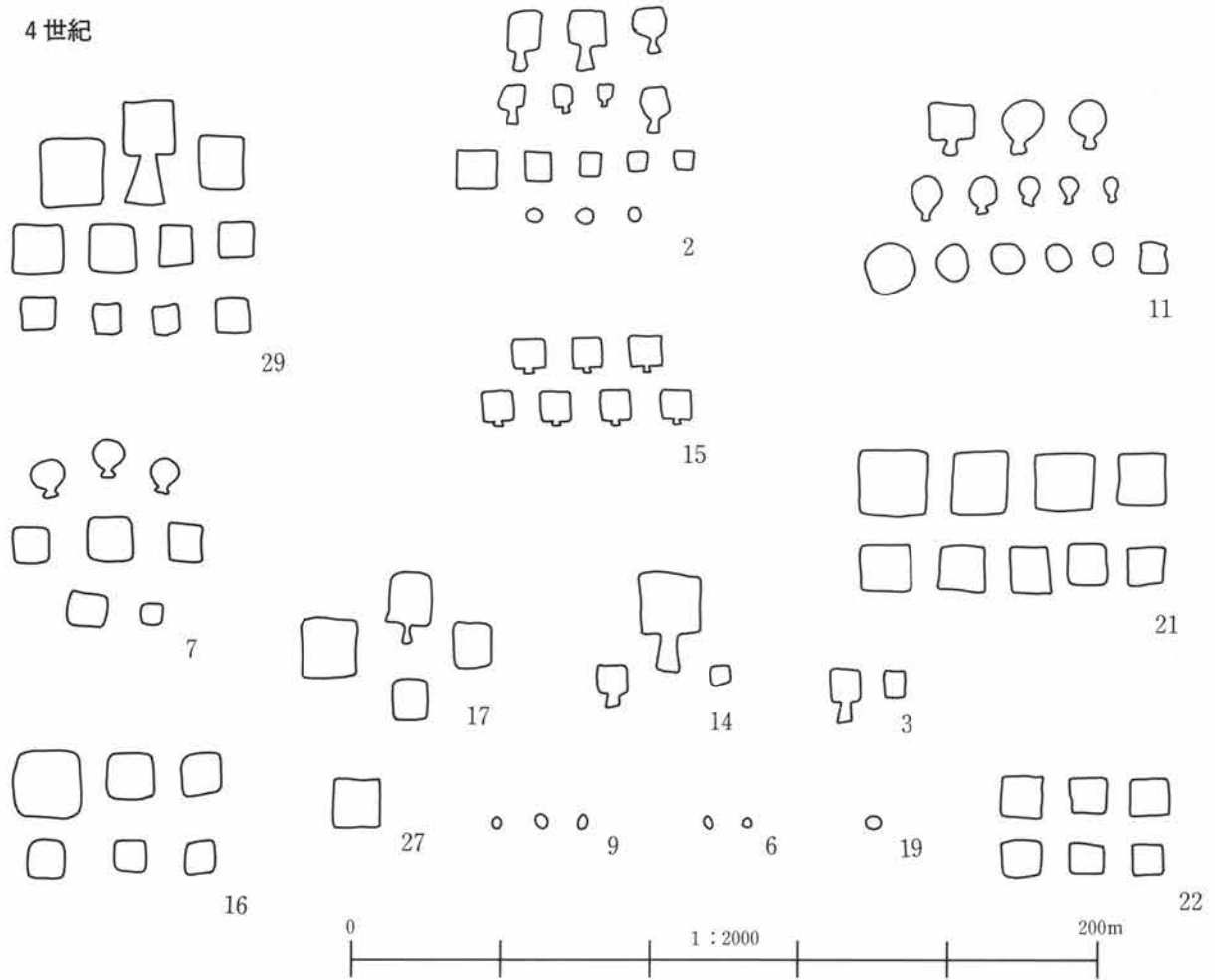
そこでこの古墳の縦糸となる年代と横糸となる占地を赤城南麓の東西7.5Km、南北9 Kmの判図(第121図)に位置づけ歴史的な解釈を加えたい。現在この地域で確認されている4世紀の墳墓は15遺跡であ

り、事前に周知されることもなく大規模な発掘調査時に群集墳として検出されている。そして5世紀の墳墓は14遺跡であるが、それらのほとんどは墳丘が遺存し周知され、周辺調査例は少なく群集墳の可能性については不明である。4、5世紀の分布状況は河川縁辺に集中する傾向は認められるものの両世紀を区分する目立った分布の変化は無い。そこで、各遺跡の墳墓の規模と墳形の組成を考えるために略図を作成した。(第122図)この図からは4世紀と5世紀では墳丘の規模の大小が明確に区分されることが判る。4世紀は方形・円形・帆立貝形・前方後方形と同一墳墓群内で多様な墳形を示すものの規模の比較ではどの墳形が優位な位置を占めるのか、判然としない。5世紀では前方後円形の御富士山古墳の系列、帆立貝形の丸塚山古墳の系列、円形の蔵手塚古墳の系列、方形の新山遺跡の系列がそれぞれ大・中・小の規模で出現し前方後円形の墳形が圧倒的な優位にある。さらに前方後円形の前方部は帆立貝形の造り出しを含めて前面を南方にむけることで共通しており、地域を越えた広範な墓制の確立が窺える。広域な墓制の共通性を埴輪からも検討してみたい。(第123図)県内最大規模の太田天神山古墳と波志江地域に出現した最古の古墳、宮貝戸第2号墳との関係である。5世紀の前期と後期の年代的な差を認めつつも2次調整にB種ヨコハケ・黒斑・赤色塗彩・半円形透孔を持ち形態的にも類似点する埴輪は墳丘形態や規模、地域を越えて広範に結ばれていると考えてよい。5世紀前半、畿内の大王から毛野の豪族に派遣された埴輪製作専門集団「土師部」は古墳時代を体現すべく明確に再編された地域首長に大王墓に樹立した埴輪と同様な埴輪の樹立を許可することによって畿内王権の確立をめざしたのである。毛野の豪族の系列の末端に位置する宮貝戸第2号墳はまさに佐位・勢多地域に埴輪を供給する土師氏(波志江)の本貫地であったと考えられる。



- | | | | |
|------------|------------|-------------|-------------|
| 1 宮貝戸遺跡 | 9 丸山遺跡 | 16 荒砥上川久保遺跡 | 23 地藏山古墳 |
| 2 荒砥東原遺跡 | 10 新山遺跡 | 17 荒砥北原遺跡 | 24 達磨古墳 |
| 3 荒砥中山遺跡 | 11 上縄引遺跡 | 18 おとうか古墳 | 25 蔵手塚古墳 |
| 4 赤堀村299号墳 | 12 赤堀茶臼山遺跡 | 19 荒砥北三木堂遺跡 | 26 丸塚山古墳 |
| 5 磯十二所古墳 | 13 川竈皆戸遺跡 | 20 今井神社古墳 | 27 華蔵寺裏山遺跡 |
| 6 北原遺跡 | 14 堤東遺跡 | 21 荒砥二之堰遺跡 | 28 御富士山古墳 |
| 7 北山遺跡 | 15 荒砥諏訪遺跡 | 22 荒砥島原遺跡 | 29 伊勢崎東流通団地 |
| 8 愛宕様古墳 | | | |
-
- | | | |
|-----------|------|------------|
| 1 宮貝戸第2号墳 | 18m | 伊勢崎市波志江町 |
| 2 古田天神山古墳 | 210m | 太田市大字内ヶ島新島 |
| 3 御富士山古墳 | 125m | 伊勢崎市安堀町779 |
| 4 今井神社古墳 | 71m | 前橋市今井町字白山東 |

第121図 赤城山南麓の4～5世紀の墳墓



第122図 4 世紀と 5 世紀の墳墓の比較

第123図 5世紀の埴輪と墳丘規模の比較

